



小俣図書館 図書館行事 ごあんない



●赤ちゃんおはなし会

6月12日(木) 午前11時～ <2階・会議室>

(定員) 10組程度(当日先着順)



●たんぽぽおはなし会

6月14日(土) 午後3時～ <2階・会議室>

(定員) 20人程度(当日先着順)

●ピッポの会・紙芝居

6月15日(日) 午前11時～ <2階・会議室>

(定員) 20人程度(当日先着順)

●図書館おはなし会&工作

6月28日(土) 午後3時～ <2階・会議室>

おはなしの後、「星の指人形」を作ります。

(対象) 3歳～小学生

(就学前の子どもは保護者同伴)

(定員) 20人程度(当日先着順)



●上映会

6月21日(土) 午後3時～ <2階・視聴覚室>

「トムとジェリー ジェリー街へ行く」

《アニメ・60分》

(定員) 20人程度(当日先着順)



開館時間 午前9時～午後7時

休館日 毎週火曜日、第2金曜日

年末年始、特別整理期間

貸出 1人10冊2週間以内(うち雑誌は5冊まで)

1団体50冊1か月以内(うち雑誌は25冊まで)

小俣図書館カレンダー



6月

7月



日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

※「★」の行事は、申し込みが必要です。

※行事詳細は小俣図書館のポスター・チラシをご覧ください。

※諸般の事情により、行事が延期または中止になる場合がございます。

ご了承ください。

●「平山郁夫」原画タペストリー展

6月14日(土)～7月10日(木)

※最終日は午後3時まで。<2階・ギャラリー>

日本画家・平山郁夫さんの指導・監修を受けて制作されたタペストリー(壁掛けなどに使われる織物の一種)の展示

●パパかっこいい!父の日おはなし会

6月15日(日) 午後3時～<1階・児童コーナー>

絵本の読み聞かせと魚つりあそびのおはなし会です。

(対象) 3歳～小学生(就学前の子どもは保護者同伴)

★重要文化財賓日館の歴史と文化

6月22日(日) 午後2時～3時 <2階・会議室>

伊勢市二見町にある賓日館の歴史と文化について学びます。

(講師) 山本翔麻さん(郷土史家)

(対象) 中学生以上

(定員) 30人程度(先着順)

(申込み) 6月1日(日) 午前9時から、直接または電話で小俣図書館へ



●わくわくストーリーテリングおはなし会

7月5日(土) 午前11時～<1階・おはなしのへや>

想像をふくらませて、耳で楽しむおはなし会です。楽しい手あそび歌もあります。

(対象) 3歳以上(大人も参加できます)



●七夕コーナー

6月19日(木)～7月7日(月)

七夕コーナーを設置します。短冊に願いごとを書いてみませんか。



★七夕キラキラおはなし会

7月6日(日) 午後2時30分～ <2階・会議室>

「七夕のおはなし」をブラックライトで光るパネルシアターを使って行います。おはなしの後、みんなで星のブレスレットを作ります。

※部屋を暗くするため、途中で入退場はできません。

(対象) 暗い所でおはなしが聞ける子ども

(定員) 20人程度(先着順)

(申込み) 6月14日(土) 午前9時から、直接または電話で小俣図書館へ



伊勢市立伊勢図書館 図書館だより 6月号

No.280

令和7年(2025年)6月1日発行
(編集・発行) 伊勢市立伊勢図書館
指定管理者/株式会社図書館流通センター
(住所) 〒516-0076 伊勢市八日市場町13-35
(電話) 0596-21-0077 (FAX) 0596-21-0078
(ホームページ) <https://iselib.city.ise.mie.jp/>
一般・X(旧twitter) @toshokan_iselib
子育て・X(旧twitter) @isetoshokan
YA・X(旧twitter) @IselibYa



～特別整理期間のお知らせ～



6月9日(月)～18日(水)の間、蔵書の点検・整理のため休館します。

伊勢図書館と市内分室の資料に貼ってあるバーコードをすべて読み込み、所在を確認する作業などを行います。ご迷惑をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。



「おはなし会」

《日時》 毎週 土曜日 午後2時30分～
《場所》 1階・おはなしコーナー

えほんの
よみきかせ
かみしばい
など



6月7日/おにいさん、おねえさんによる おはなし会
6月21日・28日
/おはなしブーさんによる おはなし会

☆14日は特別整理期間のためお休みです



「あかちゃんえほんのじかん」

「あかちゃんえほんのじかん」は、毎月第4木曜日です！

《日時》 6月26日(木) 午前11時～
《場所》 2階・視聴覚室
《内容》 あかちゃんむけの絵本の紹介や、
手あそびなどをします♪

今月は、保健師さんによる
子育てワンポイントアドバイスもあります♪

☆上映会、おはなし会、あかちゃんえほんのじかんは、申込不要です。

開館時間 午前9時～午後7時

休館日 毎週水曜・第2金曜

・年末年始・特別整理期間

貸出 1人10冊 2週間以内(うち雑誌は5冊まで)

1団体50冊 1ヶ月以内(うち雑誌は25冊まで)

* 伊勢図書館・休館日カレンダー *



最寄りのバス停
「伊勢市立図書館前」



6月

7月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		



「上映会」

《日時》 6月8日(日) 午後2時～
(開場は午後1時45分)

《場所》 2階・視聴覚室
《定員》 40人(当日先着順)

「アンナ・カレーニナ」

Anna Karenina

〈上映時間130分〉日本語吹き替え

《出演》 キーラ・ナイトレイ、ジュード・ロウ 他
19世紀末のロシア、社交界の華であった政府高官の妻
アンナは、ある日若き将校と出会い“初めての”恋に
落ちる。彼女は欺瞞に満ちた社交界や家庭を捨てて、
将校との愛に生きようとするがー。

たなばた星まつり

～きらきら☆天の川でつり体験～

《日時》 7月6日(日) 午後2時30分～

《場所》 2階・視聴覚室

《内容》 セタのお話を讀んだ後、セタにちなんだ
工作をします。

《対象》 3歳～小学生

(就学前の子どもは保護者同伴で参加可)

《定員》 10人(先着順)

《申込》 6月21日(土) 午前9時から、
カウンター・電話・FAXで伊勢図書館へ

セタコーナー

《期間》 6月19日(木)～7月7日(月)

《内容》 セタコーナーを設置します。

短冊に願い事を書いてみませんか？

※諸般の事情により、行事が延期または中止になる
場合があります。ご了承ください。



本のごあんない



〔一般書〕

今ふたたびの芥川龍之介

「ある日のことでございます。お秋^{しやう}迦^かさまは極楽^{ごくらく}の蓮池^{はすいけ}のふちを、
独^{ひとり}りでぶらぶらお歩きになっていらっしやいました。」

1892（明治25）年3月1日、東京市京橋区に生まれたその男児は、辰年辰月辰日辰刻生まれだったため龍之介と命名された。大学在学中に発表した「鼻」が夏目漱石の激賞を受け、以後文壇の注目を集めることになる——芥川龍之介その人である。

若くして天才の名をほしいままにした彼は、〈ぼんやりした不安〉に駆り立てられ、35歳で睡眠薬自殺をとげた。

そんな彼が最初にした児童文学作品が、「蜘蛛の糸」である。

「こら、罪人ども。この蜘蛛の糸はおれのものだぞ。お前たちはいったい誰の許しを受けて、のぼって来た？
下りろ。下りろ。」

極楽の蜘蛛の糸に群がる罪人に向かって犍陀多^{かんだた}が放った叫び。極限状態で人はどのように行動すべきなのか——
今を生きる私たちに突きつけられた、芥川からの問いである。

◎芥川龍之介 没後九十年不滅の文豪（河出書房新社）

◎芥川龍之介大活字本シリーズ（芥川龍之介／著 三和書籍／編 三和書籍）

◎蜘蛛の糸（芥川龍之介／著 角川春樹事務所）

※伊勢・小俣図書館のどちらかに所蔵がある本です。
ご利用館にない場合は、予約ができます。

〔児童書〕

あなたの一番こわいものは？

目^めにみえるもの、見^みえないもの、感^{かん}じるもの、想^{そう}像^{ぞう}するもの…
世^よの中にはこわいものがたくさん！ そんなこわい本を集めました。あなたのこわいものは何ですか？

★水木しげるの妖怪えほんシリーズ（水木しげる／著 講談社）

★怪談5分間の恐怖シリーズ（中村まさみ／著 金の星社）

★地獄絵本（白仁成昭／ほか構成 風濤社）

★幽霊 思いをのこして死んだもの（小松和彦／監修 中田由見子／絵 グラフィック社）

★おともだちできた？（恩田陸／さく 石井聖岳／え 講談社）



〔ヤングアダルト〕「ヴィランズ～悪役たちにスポットを！～」

ヴィランと聞くと、どんな物語や歴史、人物を思い浮かべますか？
昔から悪役は嫌われ者ですが、悪役がいることで引き立つ物語もあります。
そんなダークで魅力的なヴィランズの本たちをご紹介します！



（一般書）●二番目の悪者（林木林／作 庄野ナホコ／絵 小さい書房）

●新世界海賊の作法（山田吉彦／監修 G.B.）

●悪いお姫様の物語 おとぎ話のように甘くない24人の悪女の真実

（リンダ・ロドリゲス・マクロビー／著 緒川久美子／訳 原書房）

（児童書）●ジークル博士とハイド氏（スティーヴンスン／作 海保真夫／訳 岩波書店）

●地獄の使いをよぶ呪文 悪魔と魔女の13の話

（オトフリート・プロイスラー／作 佐々木田鶴子／訳 スズキコージ／絵 小峰書店）

「佐美長神社」

ふるさと散歩道
伊勢図書館編

伊勢神宮には神田が二つあるのはご存じでしょうか。

一つは伊勢市楠部町に、もう一つは志摩市磯部町にある伊雑宮の御料田です。毎年6月24日に、国の重要無形民俗文化財に指定された御田植祭“磯部の御神田”が伊雑宮で行われます。

伊雑宮から少し離れたところに伊勢神宮の125社の一つでもあり、伊雑宮の所管社 佐美長神社、同座に佐美長御前神社四社があります。伊雑宮と佐美長神社を結ぶ道は“御幸道”と呼ばれ、両神社の“神の通い道”だったと伝えられています。

御祭神は大歳神、佐美長御前神。別名を穂落社や大歳社などと称されています。

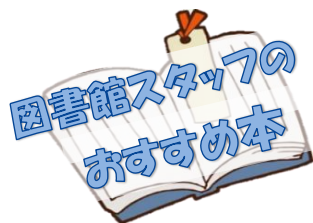
この社の起源については諸説ありますが、その一つとして、倭姫命が志摩地方を巡幸した際、稲穂をくわえた真名鶴が現れ、それを落とし、倭姫命はその穂から育った田を“千田”と名付け、真名鶴を五穀豊穡の神である大歳神と称えて、祀ったことからともいわれ、このことは「真名鶴伝説」として今も語り継がれています。

【参考資料】

- ◆お伊勢さん 125 社めぐり 改訂版 (伊勢文化舎／編 伊勢文化舎)
- ◆神路川 磯部小史(中野順蔵／著 中野順蔵)
- ◆磯部町史 下巻 (磯部町史編纂委員会／編 磯部町)
- ◆磯部郷土史 (磯部郷土史刊行会／編集 磯部郷土史刊行会)
- ◆倭姫命の御巡幸 (楠木勝敏／著 岡田登／監修 アイブレーション)
- ◆倭姫命世記注釈 (和田嘉寿男／著 和泉書院)



今月は伊勢図書館のスタッフ2人が本を紹介します。



一般書

「寝ても覚めてもアザラシ救助隊」
(岡崎雅子／著 実業之日本社)

北海道の紋別市に日本唯一のアザラシ保護施設があります。そこで働かされている飼育員の方のエッセイで、アザラシの生態や保護の実情を知ることが出来ます。アザラシも私達のようにエサの魚の好き嫌いがあるんだそうですよ！度々出てくるアザラシのイラストも可愛らしく癒されます。

著者の方の好きを貫く姿が本当に素敵だと感じられる一冊です。



一般書

「CONTACT ART」
(原田マハ／著 幻冬舎)



芸術という少し敷居が高くて、名画でも良さがまったく感じられないこともあります。でも、「理解するのは後でもいい」、「頭で見のではなく、心の窓をまず開けること」と著者は語ります。知識や解説に頼らずとも、その絵から、自分の感性が心のままに動かされ、何かを受け取るのは自分自身。著者が日本各地の美術館のコレクションにコンタクトして受け取ったメッセージを教えてもらえる、そんな贅沢な1冊。美術館を訪れに旅に出たくなります。